



I 第16週の発生動向 (2018/4/16~2018/4/22)

1. インフルエンザについては、上十三保健所管内で**注意報**が発令され、五所川原保健所管内で**警報**が解除されました。
2. 感染性胃腸炎については、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
3. 突発性発しんについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
5. 流行性角結膜炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。

II 第16週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ	78	6.00	90	6.00	29	1.93	58	8.29	114	12.67	24	4.00	393	6.05	-65
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	1	0.11	1	0.10	2	0.40					8	0.19	1
	咽頭結膜熱	2	0.25	5	0.56	1	0.10	1	0.20	1	0.17	1	0.25	11	0.26	-2
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	10	1.25	11	1.22	17	1.70	9	1.80	12	2.00	20	5.00	79	1.88	-18
	感染性胃腸炎	39	4.88	50	5.56	105	10.50	105	21.00	36	6.00	11	2.75	346	8.24	-32
	水痘			2	0.22	1	0.10	1	0.20	1	0.17	3	0.75	8	0.19	0
	手足口病			9	1.00									9	0.21	7
	伝染性紅斑	2	0.25											2	0.05	1
	突発性発しん	9	1.13	7	0.78	11	1.10	2	0.40	2	0.33	1	0.25	32	0.76	18
	ヘルパンギーナ															-1
流行性耳下腺炎			5	0.56	17	1.70			3	0.50			25	0.60	5	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎			2	0.67	5	2.50	1	1.00					8	0.73	-4
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					6	6.00	3	3.00	5	5.00	4	4.00	18	3.00	-2
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											5	5.00	5	0.83	3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

麻疹 (五類全数把握対象疾患)

麻疹(はしか)は、麻疹ウイルスに感染して起こる急性の感染症です。麻疹ウイルスは感染力が非常に強く、空気を介して人から人に簡単に感染するため、手洗いやマスクだけでは予防できません。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。発症すると、高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状が出ます。

麻疹(はしか)を予防する最も有効な方法はワクチン接種です。2回の接種で99%以上の人に免疫が得られます。世界には麻疹(はしか)が流行している国・地域があります。海外に行く前に、麻疹の予防接種歴を母子手帳などで確認し、2回接種していない場合には予防接種を検討して下さい。定期接種の対象年齢者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)は麻疹風しん混合ワクチンを定期的予防接種として受けることが出来ます。また、麻疹にかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合は抗体検査を検討して下さい。詳しくは、かかりつけ医にご相談下さい。

100万回のハグよりも、
2回のはしかワクチン。



出典: 厚生労働省ポスターより抜粋

○詳しい情報はこちらをご覧ください [麻疹について \(厚生労働省 HP\)](#)

厚生労働省 麻疹 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、八戸市1人、五所川原1人、むつ1人
(2018年計：54人)
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人
(2018年計：14人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第9週～2018年第16週）

- ・第16週の患者報告数は393人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは386人【A型：263人、B型：123人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	9	10	11	12	13	14	15	16
東地方+青森市	174	221	223	172	114	79	77	78
弘前	231	192	188	135	111	94	126	90
三戸地方+八戸市	234	253	252	163	100	43	30	29
五所川原	157	133	71	80	87	91	130	58
上十三	210	159	174	162	110	54	75	114
むつ	132	114	76	58	31	23	20	24
合計	1138	1072	984	770	553	384	458	393

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	9	10	11	12	13	14	15	16
東地方+青森市	45	106	150	93	72	46	51	65
弘前	72	73	97	63	69	65	102	81
三戸地方+八戸市	87	88	80	42	37	15	13	12
五所川原	78	60	24	27	52	73	103	42
上十三	77	41	56	94	48	22	31	43
むつ	28	35	37	29	14	21	14	20
合計	387	403	444	348	292	242	314	263

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	9	10	11	12	13	14	15	16
東地方+青森市	129	115	73	78	41	33	25	13
弘前	159	119	91	72	42	29	24	9
三戸地方+八戸市	143	160	165	116	61	28	16	16
五所川原	79	73	47	53	35	18	27	16
上十三	124	110	114	67	61	29	43	68
むつ	102	72	36	27	16	2	5	1
合計	736	649	526	413	256	139	140	123

年齢区分別(人)

年齢区分	9	10	11	12	13	14	15	16
～5ヶ月	2	1	1	1	3	2	0	1
～11ヶ月	13	6	8	12	4	9	4	10
1歳	50	47	30	28	19	17	26	25
2歳	31	42	38	25	18	10	21	14
3歳	59	58	38	39	15	16	41	21
4歳	58	67	61	35	21	20	31	21
5歳	98	75	46	34	31	26	35	18
6歳	96	72	58	32	28	16	14	18
7歳	57	39	49	40	27	11	20	16
8歳	27	55	37	26	19	0	9	13
9歳	31	31	53	39	18	10	6	7
10～14歳	157	166	158	115	53	22	36	35
15～19歳	51	48	44	24	16	13	14	23
20～29歳	34	21	35	31	21	26	19	20
30～39歳	56	60	41	54	33	29	34	23
40～49歳	61	64	62	50	48	34	26	22
50～59歳	62	60	64	40	44	27	28	22
60～69歳	82	63	66	66	61	22	30	34
70～79歳	55	44	51	41	32	31	21	13
80歳以上	58	53	44	38	42	43	43	37

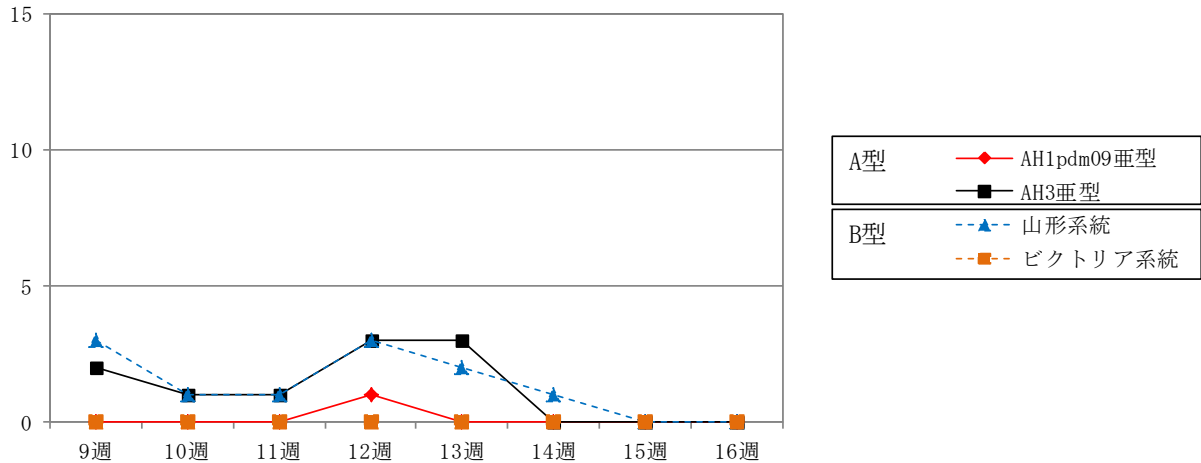
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2018								直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計
		9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週		
提出検体数		6	3	2	8	5	2 (1)	3 (3)	3 (3)	21 (7)	100 (7)
検出 状況	A型										
	AH1pdm09亜型				1					1	14
	AH3亜型	2	1	1	3	3				6	34
	B型										
	山形系統	3	1	1	3	2	1			6	33
	ビクトリア系統									0	0
合計		5	2	2	7	5	1	0	0	13	81

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第13週～2018年第16週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
13	H30.3.26 ~ H30.4.1						
14	H30.4.2 ~ H30.4.8	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	百日咳1人				
15	H30.4.9 ~ H30.4.15		侵襲性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人 百日咳1人			
16	H30.4.16 ~ H30.4.22			百日咳1人			

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第13週～2018年第16週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
13	H30.3.26 ~ H30.4.1	1		1	2		
14	H30.4.2 ~ H30.4.8		1	1			
15	H30.4.9 ~ H30.4.15		1	2		2	
16	H30.4.16 ~ H30.4.22	1	1	1	1		1

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第15週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	5761	2	56	187	15	5	100	174	1	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	1	4	43	29	5	1	2	12	285	222

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症
累積報告数	41	444	265	6	55	246	330	24	140	14

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1154	98	1675	45	18	13	910	8	67	4

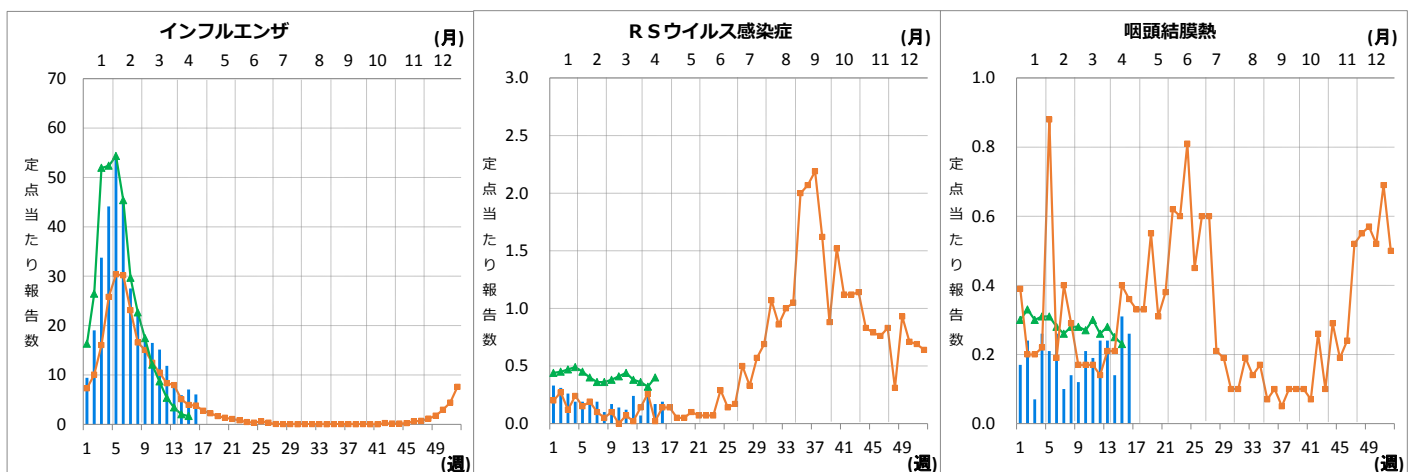
青森県（2018年第1週～2018年第16週までの累計）

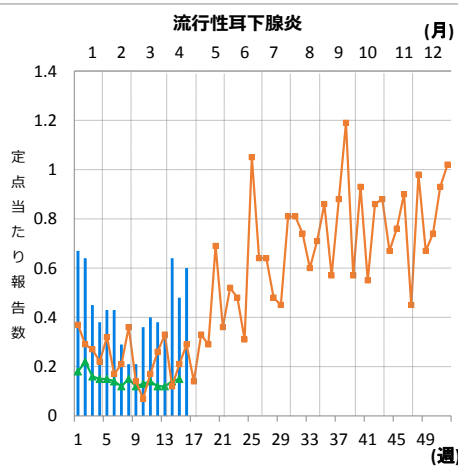
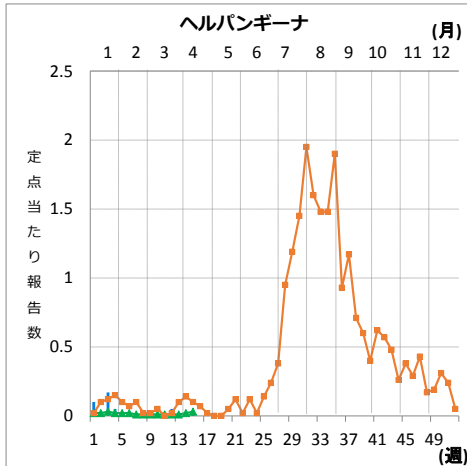
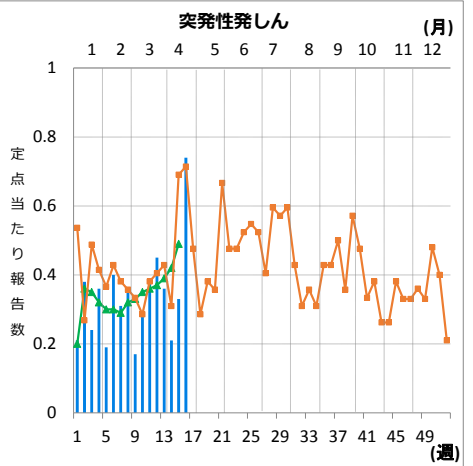
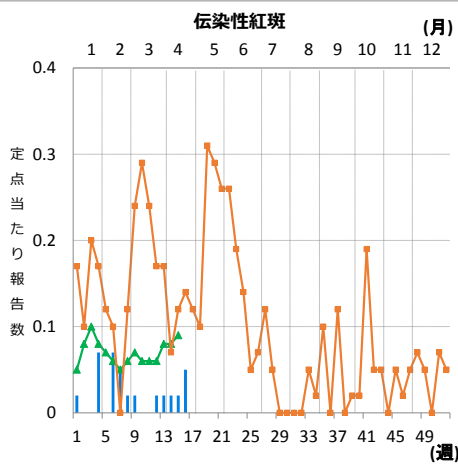
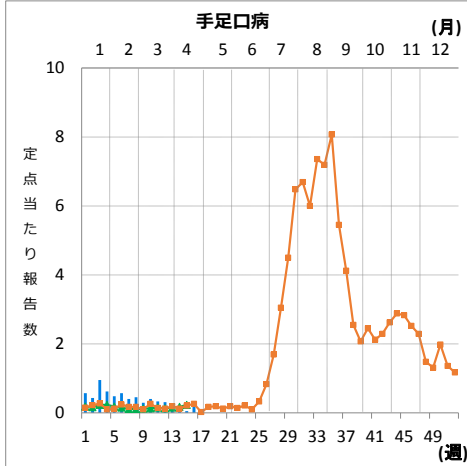
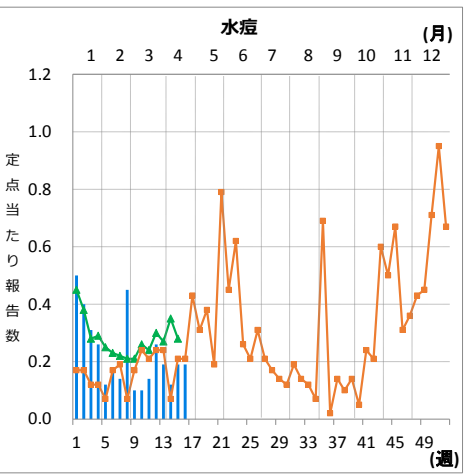
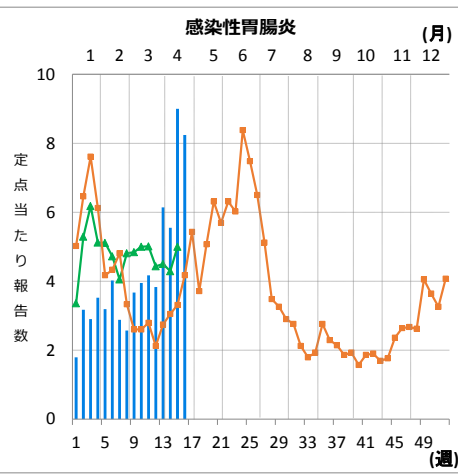
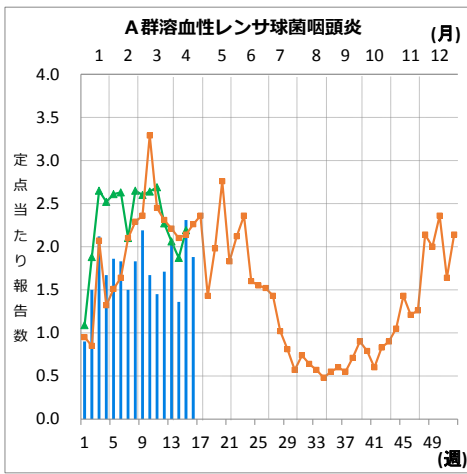
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	54	3	1	1	2	1	8	1	2	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	1	4	1	14	2	14

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第16週、ただし全国は前週）

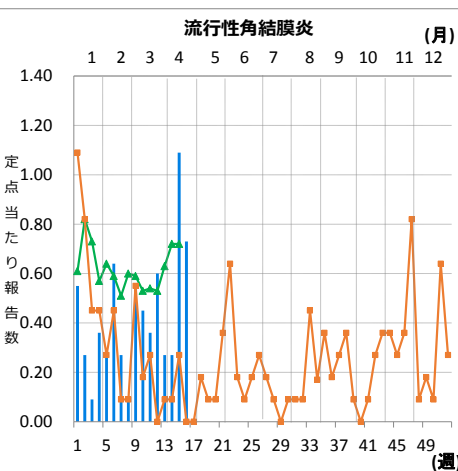
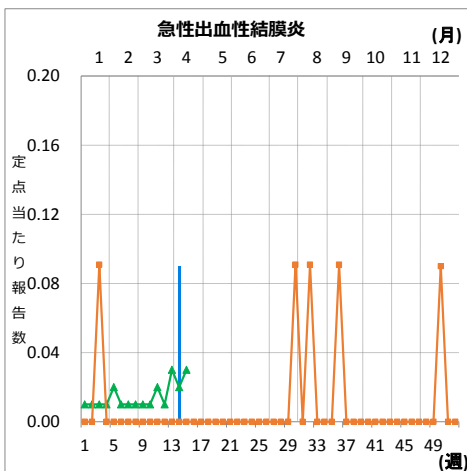
グラフの説明 —は2018年青森県、■——■は2017年青森県、▲——▲は2018年全国





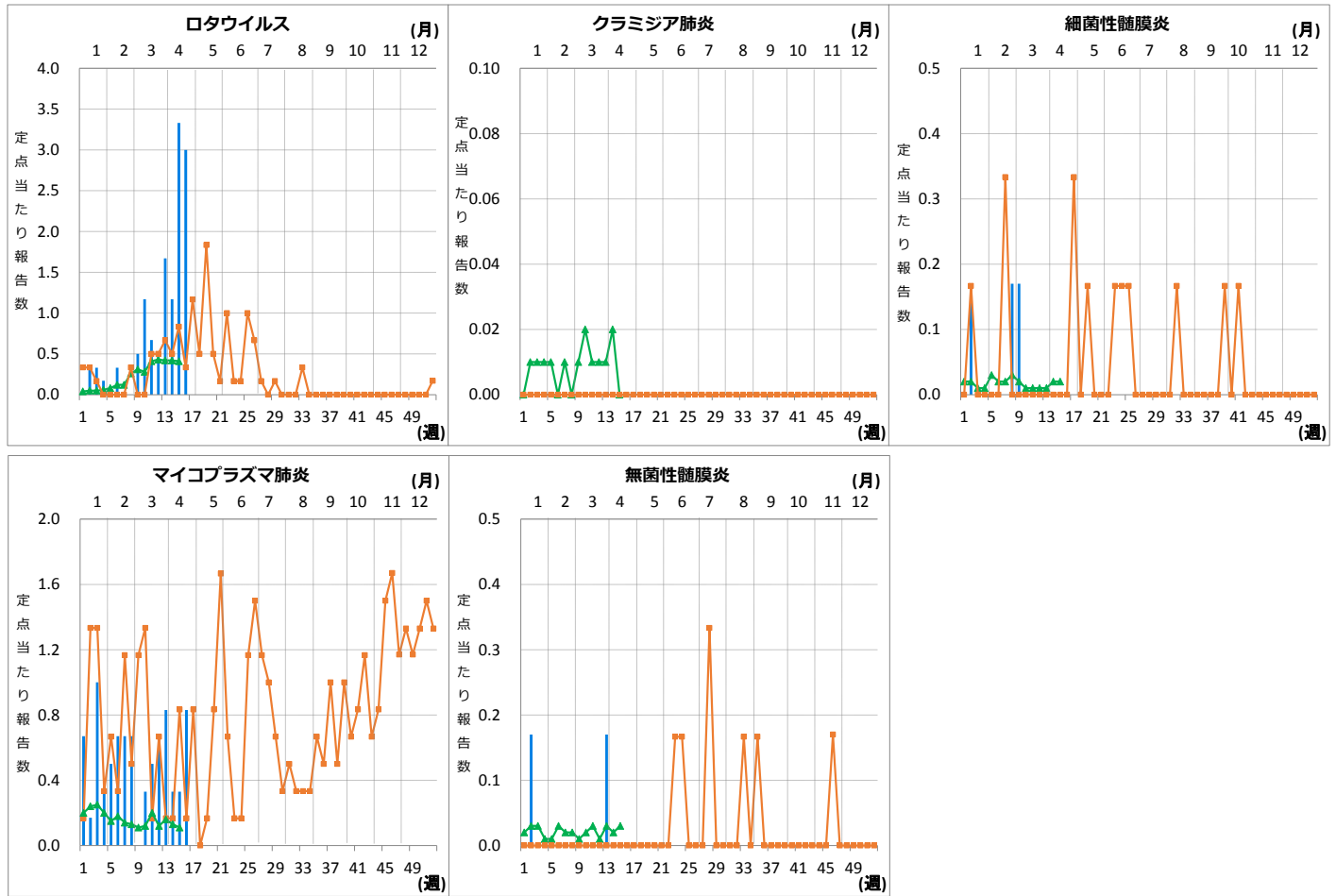
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第16週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第16週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第16週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第16週	児童・婦人関係施設等	14	八戸市保健所
第16週	児童・婦人関係施設等	5	青森市保健所

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月		3月		4月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13週	14週	15週	16週		
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	4	
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	70	
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	0	0	2	2	4	
	発症者数	0	0	0	0	0	37	19	56	
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	2	
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	37	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(月別)	件数	3	1	2	0	0	2	2	10	
	発症者数	56	15	36	0	0	37	19	163	